



南条つ子

南条小学校だより
R1.10.10 No.58

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

○ 6年生 トップアスリート派遣体験実技講習会

10月9日(水)、6年生がトップアスリート派遣による体育の授業を受けました。今回の講師の先生は、福井ミラクルエレファントスの濱田投手と筒井内野手です。

【授業内容】

- ・模範演技としての講師2人のキャッチボールを見る。
- ・講師から良い投げ方の指導を受ける。
- ・全員で「バックホームゲーム」をする。



投手 11 濱田俊之 Hamada Toshiyuki
内野手 39 筒井翔也 Tsutsui Shoya
福井ミラクルエレファントスホームページより

「バックホームゲーム」とは

カラーボールを使用したミニ野球ゲームで、手でボールを投げて1塁に走ります。(ノーバウンドでキャッチされてもアウトにはなりません。)守備側は投げられたボールを取り、キャッチャーへ投げ返し、キャッチャーがボールを受けた時点で打者が達していた塁が得点になります。(1塁に行くまでにキャッチャーにボールが戻ってきたら0点、1塁を越えていたら1点、2塁を越えていたら2点..)それをチーム全員で繰り返し、総得点で勝敗を決めるゲームです。

スター選手を身近に感じる絶好の機会と、とても良い思い出にもなりました。良い投げ方のフォームを丁寧に教えてもらうことができました。また、「バックホームゲーム」では、大声を出し、楽しそうにゲームをしていました。選手からサインをもらい、とても喜んでいました。



○ 朝の歌

毎朝、朝の会で今月の歌が各教室に放送され、子どもたちが一緒に歌っています。

10月の歌は、『BELIEVE (ビリーヴ)』です。この歌は、1998年にNHK番組「生きもの地球紀行」の3代目エンディングテーマとして発表されました。小学校の音楽の教科書に載っていたり、卒業(園)式などでも歌われたりすることがあるので、保護者の方もご存じの歌かと思います。

『BELIEVE (ビリーヴ)』 作詞・作曲 杉本 竜一

(1番)

たとえば君が 傷ついて
くじけそうに なった時は
かならず僕が そばにいて
ささえてあげるよ その肩を
世界中の 希望のせて
この地球は まわってる

※ { いま未来の 扉を開けるとき
悲しみや 苦しみが
いつの日か 喜びに変わるだろう
I believe in future 信じてる

(2番)

もしも誰かが 君のそばで
泣きだしそうに なった時は
だまって腕を とりながら
いっしょに歩いて くれるよね
世界中の やさしさで
この地球を つつみたい
いま素直な 気持ちになれるなら
憧れや 愛しさが
大空に 弾けてひかるだろう
I believe in future 信じてる

※ くりかえし

今の困難にくじけず、互いに助け合いながら、未来を信じ、未来に向かって歩いていこうという歌詞はとても感動的です。小さい子どもたちが、一生懸命に歌っている姿を見るだけで、涙が出そうになります。子どもたちにとって喜ばしい輝ける未来があることを願ってやみません。

ところで、このような素敵な歌を歌っている反面、過激なゲームの影響なのか、子どもたち同士の間で、相手に対してとても失礼な言葉や、傷つける言葉を使っていたり、気分を害するハンドサインをしていたりすることがあるとの報告を受けることがあります。

「子どもが言う(する)ことだから」「軽いノリで」という理由で許されるはずもありません。それだけでも完全にいじめ(内容によっては犯罪や人権侵害)になりますし、中には、深く傷ついている子もいます。絶対に言うてはいけないこと、してはいけないことについては、大人がしっかりと教えて、やめさせる責任があります。学校でも指導をしますが、ご家庭でも厳しくご指導くださるようお願いいたします。

○ ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットデー

9月24日(月)～30日(月) の中で2日間、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットに取り組んでもらいました。中には、親子で取り組んでいるというご家庭もあることを知り、驚くとともにうれしくなりました。ご協力ありがとうございました。

1ポイント:2日間あわせて2時間以内	2ポイント:2日間あわせて1時間以内
3ポイント:2日間あわせて30分以内	5ポイント:2日間あわせて0分

今回、5ポイントを取った児童は、110名(40.3%)でした。クラスごとの平均点の最高は、4.14点で、高学年がしっかりと取り組んでいるという結果が出ました。また、これまで4回の取組すべてで5ポイントの児童は、40名います。次回もしっかりと意識して頑張りましょう。